

- 4 成 果 寒冷紗に使用した裏地接着はパーケツト，ブロックの保持，および施工面との接着には効用がある。但し表面仕上げ工程のサンダーかけに対する強さが必要となる。

(6) 竹材の接着試験

- 1 担当者 工業技師 松田健一
- 2 目的 各種合成樹脂接着剤は木材と竹材によつて著しく相違しその接着に関しては興味さる現象を示す。これを究明し、竹材の接着に最も適合した接着剤の判定を行いその基準を見出す。
- 3 概要 試験片 猛宗竹（6年生）中皮部と中皮部を接着しJIS規格による試験片を作成した。
- 接着剤 尿素樹脂系，醋ビ系，石炭酸系，エポキシ，カゼイン
- 接着圧力 (10Kg/cm<sup>2</sup>)
- 加圧時間 24時間
- 放着日数 5日
- 接着力 (室温，接着時 14° 試験時11°c)

区 分		配合物	1	2	3	4	5	平均	接着力 Kg/cm <sup>2</sup>
尿 素 系	ユーロイド 井 120	硬化剤 10%	324	320	284	271	280	295.8	47.3
	イゲタライム UA120a	〃 5%	345	330	412	377	350	382.8	61.2
	〃 b	〃 5%	335	370	375	420	350	370.0	59.0
醋 ビ 系	ボンドCH <sub>7</sub>	ナ シ	371	360	355	359	350	359.0	57.4
	CH <sub>3</sub> a	〃	350	385	360	430	475	400	65.6
	CH <sub>3</sub> b	〃	330	285	360	230	245	290	46.4
石 炭 酸 系	スミボンド PA300	硬化剤 10%	175	227	225	225	265	223.4	35.7
	セメダイン no108	〃	175	160	220	190	315	212	33.9
	ボンド PR1	〃	307	283	343	334	248	303	46.7
エ ポ キ シ	セメダイン NO500	〃 70%	165	150	170	150	160	159	25.0

4. 成 果 試験の結果醋ビ系が比較的安定した値を示し、作業が容易であることからみて、竹材には好適と判定することが出来た。
- 石炭酸系，エポキシ系は著しく接着力が悪く，竹材には不適と思われる。これは接着時における熱圧温度が材質に及ぼす影響を考慮することが必要であろう。